

## 会議結果

会議名	第4回西尾市補助金等検討委員会
日時	平成30年10月29日（月） 午後1時30分～午後3時20分
場所	西尾市役所 4階 41会議室
出席者	委員…横山会長、久世副会長、三浦委員、清水委員、榊原委員 事務局（企画政策課）…齋藤課長、松原課長補佐、三浦 商工観光課…杉山課長補佐、三矢主査、林主事 公園緑地課…本多主査 都市計画課…加藤課長補佐
<p>松原課長補佐が会議を進行。 会議の概要は次のとおり。</p> <p>1 会長あいさつ（横山会長） 平成30年度終期の補助金評価は今日を含めあと2回。有終の美を飾るためしっかりと評価を。</p> <p>2 補助金の評価 （1）評価方法の検証について 松原課長補佐から説明。 前回会議でも話したとおり、現状維持のラインを7割とすることを委員に諮る。異議がなかったため、現状維持を7割とすることとし、評価基準を資料のとおり決定した。 （2）補助金 No. 81, 83, 84, 85, 86, 87 の確定について 松原課長補佐から説明。 前回会議で確認し、その後意見がなかったため6つの補助金評価を決定とした。 （3）補助金 No. 7, 8, 36, 51 の検討結果について 松原課長補佐から説明。 前回会議で協議した4つの補助金シートの案を事務局で作成したため、報告。意見があれば次回までに事務局まで連絡をしてもらう。 （4）補助金 No. 115, 124, 125, 126 の検討について ●No. 115 西尾市小規模事業者サポート補助金（商工観光課） ・主な委員からの意見等 小規模事業者の経営を支援することは良いことである。成果分析のためにも目標を設定し、制度周知をしながら事業者に対して最善の補助方法を考えていただきたい。 経済状況に左右されるため目標設定や進捗を記載できないというのは良くない。目標を設定し成果を分析する努力が必要である。 進捗調査を行い、税込及び雇用の増加が結果として出ていることは良いことである。 頑張っている小規模事業者を応援することは良いことである。 融資額補助と利子補給制度の違いを再度検証し、補助の方法をもう一度検討していただきたい。</p>	

新規開業者への補助も含めて、他の方法での小規模事業者の応援を考えて欲しい。  
融資額の1%20万円という上限は、根拠がないのであれば無くても良いのではないかと。

●No. 124 緑の街並み推進事業補助金（公園緑地課）

●No. 125 市民参加緑づくり事業補助金（公園緑地課）

- ・主な委員からの意見等（No. 124, 125 共通意見）

国県からの補助による財源があると、市は思考停止に陥ってしまうことがある。市としての緑化政策の方針を明確にした上で、そのための補助金であるということを考えて欲しい。

市全体の中で本当に緑化が必要な区域を見定め、重点的に補助していくことが必要ではないか。

ただ植物を植えれば良いというものではなく、その後の維持管理も含めた計画が必要である。

国県からの補助が財源であり、市の負担がない補助金なので、周知を積極的にして住みやすく美しい西尾市作りに生かして欲しい。

（No.125 のみに対する意見）

直近で実績がないことがもったいない。積極的な働きかけや周知を行って欲しい。

●No. 126 西尾駅西広場コンベンションホール等整備費補助金（都市計画課）

目的であるコンベンションホールの建設は終了している。単年のみの補助金であり、委員会としては評価しないこととした。

### 3 その他

松原課長補佐から説明。

- ・平成 30 年度で終期を向かえる補助金について、No. 126 と同様に次年度以降補助を継続しないのであれば評価しないという方針で、再度評価する補助金を調整する。
- ・スケジュールを資料のとおり説明。
- ・平成 30 年度終期以外の補助金についても引き続き協議していく。同じ様な補助金はまとめて説明するなど評価方法を工夫し進めていく。

以上、15 時 20 分終了